

令和 6 年 6 月 7 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ

代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 6 年 5 月 3 0 日（木） から 令和 6 年 5 月 3 1 日（金） まで

2 活動場所

明治大学アカデミーコモン棟 3 階アカデミーホール
（東京都千代田区神田駿河台 1-1）

3 参加者

山谷仁、日向裕子、柳橋好子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ 研修 ・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	地方自治体に個性や発想の転換が求められている今、同様に地方議会にも更なる創造や変換が必要と思われる。「政策議会」の理論と実践を学び、また、義務教育の最重要課題などの講演により、我々の「政策サイクル推進」につなげるために研修を受けるものとする。
活動概要	●実施日 第1日目: 5月30日(木) 12:00開場・受付 13:00～13:10 大会挨拶 穂坂 邦夫((財)日本自治創造学会理事長) ◇国と地方の基本的課題 13:10～14:00 講演「地方自治体の目指す道」 吉川 洋(東京大学名誉教授・財務省財務総合政策研究所名誉所長) 14:00～14:45 講演「個性ある自治体づくり」 牛山 久仁彦(明治大学政治経済学部教授) ◇新たな地方議会をつくる 15:10～15:55 講演「「政策議会」の理論と実践」 土山 希美枝(法政大学法学部教授) 16:10～16:55 講演 「新たな地方議会の創造“議会からの発信”「住民自治に根幹」としての議会の作動」 江藤 俊昭(大正大学地域創生学部教授) ◇発想を変えた自治体づくり 17:10～17:55 講演「賢く収縮するまちづくり」 青野 高陽(岡山県美咲町長) 18:30～20:00 懇親会 ～地域間交流～“我が自治体の新たな挑戦をPRする” 第2日目: 5月31日(金) ◇デジタルで地方を変える 10:00～10:40 講演「デジタル導入の価値を考える」 河野 太郎(デジタル大臣・衆議院議員) ◇義務教育の最重要課題(※講義順変更) 10:40～11:25 講演「今、求められる子どもの自殺予防」 新井 肇(関西外国語大学外国語学部教授・文科省いじめ防止対策協議会座長) ◇自治体を守る 13:00～13:45 講演 「地方自治体と防災DX-令和6年能登半島地震を踏まえ-」 臼田 裕一郎(国立研究開発法人防災科学技術研究所総合防災情報センター長) 14:00～14:45 講演「住民目線のまちづくり“都市の正義が地方を壊す”」 山下 祐介(東京都立大学人文科学研究科教授) 15:00～15:05 閉会挨拶 牛山 久仁彦((財)日本自治創造学会理事・明治大学教授)

活動成果	○地方自治体の目指す道 吉川 洋 日本の少子高齢化や経済の長期停滞、社会保障の将来不安などの諸問題を、日本の自治体の比較や、日本と世界との比較を通して解りやすく解説。これからの地方自治体の目指す方向性や考え方に大いに参考になった。 ○新たな地方議会の創造“議会からの発信” 江藤 俊昭 江藤先生のこれまでの主な主張は、「主権者教育の推進」と住民自治の根幹「議会(フォーラム*)の創造」である。 フォーラムには、議会を強化する視点、社会・組織規範改革と熟議の重要性があげられる。以下、フォーラムで議会を豊富化する2つの留意点である。 1、多様な視点から政策を討議する場を作り出す上での基底を探ること。 政治における多様性は、社会や経済の多様性とも密接に関連している。社会や経済のさまざまな団体の意志決定を担う人たちが多様化していなければ、政治における多様性を充実させることは困難である。 2、フォーラムは、議会にとって議員間討議の意味である。 日本では、対話、討議、討論などの用語が飛び交っている。政治学用語では、熟議や闊議なども使われるようになった。議会における討議の意義を再確認し、議会改革において、対話を重視する議会も多くなっている。住民との意見交換なども重要であるが、議会はさらに検証を重ねその裏に潜んでいるものも探る必要がある。 *(フォーラムとは一般的に、公開討論という) 江藤先生の講演には、本音の考えが多く盛り込まれており、これからの議会活動に大いに力をいただいた気分である。地方の議会だからこそ、住民自治の考え方を具現化し、社会を変えていかなければと思う。 ○今、求められる子どもの自殺予防 新井 肇 「統計的に大人の自殺は減っているが、子どもの自殺は増え続けている。いじめが要因でもあるが決してそれが多いわけではない」など、現場に長く携わってこられた発言で言葉に説得力があった。ほかの国々と比較しても日本は子どもの自殺率がかなり高い。この事実を重く受け止め、一人ひとりに丁寧に寄り添い、一人でも救いたいという気持ちが切々と伝わってきた。 以上、今後の参考にするべき課題や、その解決方法などが浮き彫りにされ、とても有意義な研修であった。
------	---

研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 6 年 5 月 30 日 (木)	9 : 50～12 : 08	盛岡駅⇒東京駅（はやぶさ 14 号）
	12 : 20 12 : 30	東京駅⇒御茶ノ水駅（中央線） 会場着
	13 : 00～18 : 10	【研修】 明治大学アカデミーコモン棟 3 階 アカデミーホール （東京都千代田区神田駿河台 1-1） 「第 16 回 日本自治創造学会 研究大会」 【宿泊】 お茶の水ホテルジュラク （千代田区神田淡路町 2-9）
令和 6 年 5 月 31 日 (金)	9 : 00	ホテル発
	10 : 00～15 : 05	【研修】 明治大学アカデミーコモン棟 3 階 アカデミーホール （東京都千代田区神田駿河台 1-1） 「第 16 回 日本自治創造学会 研究大会」 御茶ノ水駅⇒東京駅（中央線）
	16 : 20～18 : 33	東京駅⇒盛岡駅（はやぶさ 35 号）

令和 6 年 1 0 月 3 1 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ

代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 6 年 1 0 月 9 日（水） から 令和 6 年 1 0 月 1 0 日（木） まで

2 活動場所

トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）

3 参加者

山谷仁、齋藤明、日向裕子、柳橋好子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体：市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ <u>研修</u> ・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	「主権者教育」とは社会の構成員として、市民が社会を知る(民主主義の仕組みを知る)ことであり、基本的にシチズンシップ教育であるべきという理念のもと、我々議員の役割について考えるため、研修に参加しました。
活動概要	●実施日 令和6年10月9日(水)～令和6年10月10日(木) ●場所 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) ●内容 全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡 大会テーマ「主権者教育の新たな展開」 1日目 10月9日(水) 13:00 開会式 13:20 基調講演(ビデオメッセージに変更) 「人口減少社会における地域の未来図」 講師:菅 義偉 氏(第99代内閣総理大臣) 14:20 パネルディスカッション 「地方議会の課題と主権者教育」 コーディネーター 井柳 美紀 氏 (静岡大学人文社会科学部法学科教授) パネリスト 土山 希美枝 氏(法政大学法学部教授) 越智 大貴 氏(一般社団法人WONDER EDUCATION代表理事) 渡辺 嘉久 氏(読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局) 遠藤 政幸 氏(盛岡市議会議長) 16:20 次期開催地挨拶 2日目 10月10日(木) 9:00～10:50 課題討議 「主権者教育の取組報告」

	コーディネーター 河村 和徳 氏 (東北大学大学院情報科学研究科准教授) 事例報告者 白鳥 敏明 氏(伊那市議会前議長) 諸岡 覚 氏(四日市市議会議員) 服部 香代 氏(山鹿市議会議長) 11:00 閉会式
活動成果	以上の項目により研修を受けた。 ○ 菅元総理大臣の基調講演予定が衆議院解散に伴う政局により、急遽ビデオメッセージに切り替わった。内容の要約は次のとおりである。 「この度の国会において、政治に対する大きな不信になったことに対して大変憂慮している。今後においては自由な政治活動、そして国民に信頼される政治改革をしていかなければならない。私が提唱し、経済効果に大きく寄与している「ふるさと納税」は、昨年は1兆2千億円を超える納税額に膨らみ、今後においては、その運用の仕方や取り扱い方法の更なる検討をしながら、前進させていくことを考えている。」 ○ パネルディスカッションのそれぞれのパネリストの見解として ・ 高校生議会をもって、主権者教育というのをやめよう。 ・ 若者は政治や社会をどう捉えているか。 ・ 13年間の主催者教育の取組を通して、政治家との交流は子どもたちの政治意識の醸成に大きく影響する。 ・ 政治とつながることは未来とつながる、つまり、自分の未来を創造すること、という意識を持つ教育。 等があった。 この研修を通し、主権者教育とは単に若者議会を開催すること等ではなく、地域社会的課題を自ら認識し、経験を含めた形で社会を改善していく力を養う教育であり、子どもたちに早い段階から社会の一員として自ら考える力、社会参加に必要な知識や価値観を習得させる教育であることを認識した。 しかしながら、現実には、制度の理解を教えることや投票率の向上の教育が中心であり、議会・教育現場・選挙管理委員会等との連携も不十分であることから、滝沢市議会として、シチズンシップ教育を理解し、市民(特に若者たち)に身近なところで政治を知る機会を作っていくことが求められる。



令和 6 年 1 1 月 5 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ

代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 6 年 1 0 月 2 9 日（火）

2 活動場所

秋田キャッスルホテル 4 階「放光の間」

3 参加者

山谷仁、柳橋好子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ 研修 ・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	近年各自治体での課題となっている空き家問題における研修セミナーが秋田市で開催されたため、わが市における空き家対策の課題に関し参考にするべく、そのセミナーに参加し、聴講した。
活動概要	●実施日 令和6年10月29日(火) ●場 所 秋田キャッスルホテル4階「放光の間」 ●研修名 2024未来ビジョン出前セミナーin秋田 主催: 全国市議会議長会 ●内 容 13:30 開会 開催市議長挨拶 秋田市議会議長 菅原 琢哉 氏 13:40 講演 「空き家の増大と住宅対策」 講師 饗庭 伸 氏(東京都立大学都市環境学部教授) 1. 平成期の住宅対策 2. 人口減少時代の都市問題 3. 秋田の住宅 4. これからの住宅政策 15:10 質疑応答・意見交換 15:30 閉会 講演の主な要点 ・ 住生活基本計画、空き家対策特別措置法に基づく「空き家対策計画」 ・ 住宅対策の課題 市町村職員や議員が、住宅市場や住宅地をどう理解しているか。 市町村が中心に担う「セーフティネット」を単純な仕事として片付けていないか。 住宅だけでなく、住環境を合わせて考えることが出来ているか。 ・ 秋田の空き家は増加しているが、使わなくなったらすぐ壊される(雪の関係)、よって空き地が増える。 ・ これからの住宅政策(空き家対策) 特定空き家の解体代執行、意識啓発、空き家活用 定期診断(空き家の実態調査)を欠かさずに行うこと

	空き家・空き地を使った住環境改善 等
活動成果	滝沢市においても古い団地など空き家が漸増している状況下、解体を迫られるような物件も多く見られるようになり、その地域の環境に適した解体方法や、再利用の仕方など、市民と行政が話し合う重要性が増してきていると考えられる。 講演内容は、秋田市特有の空き家状況もあったが、滝沢市や他市町にも共通する課題や対策方法も示され、今後の参考になる研修であった。

令和 7 年 1 月 2 7 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査・~~研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究・~~研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日
令和 7 年 1 月 2 3 日（木） から 令和 7 年 1 月 2 4 日（金）
- 2 活動場所
衆議院第 2 議員会館 2 0 3 号室、衆議院第 2 議員会館第 1 会議室
- 3 参加者
山谷仁、柳橋好子、齋藤明
- 4 活動内容
別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ <u>研修</u> ・ <u>要請陳情等</u>
活動の理由 及び その目的	予算審議を前にして、2025年地方財政対策(計画)を学び、同時に不登校対策を文科省と、実践の場からの報告を聞くことにより、滝沢市についても考えるために研修を受けるものである。 また、会場が衆議院議員会館でもあり、国会議事堂の機能などの説明を受け、議員としての意識の向上を図るものである。
活動概要	実施日 令和7年1月23日(木)から令和7年1月24日(金) 場所 衆議院第2議員会館第1会議室 (東京都千代田区永田町2-1-2) 研修名 第47回地方×国 政策研究会 主催: 自治体議員政策情報センター・虹とみどり 内容 1月23日(木) 14:00 要請陳情等 衆議院第2議員会館 衆議院議員階猛氏に要望書提出 国会議事堂説明 要望内容等 盛岡市みたけの岩手県営運動公園グラウンドは、岩手県内のスポーツ愛好者が長年にわたり活用してきた。特に、岩手地区の人達にとっては中心となるグラウンドとして活用されており、滝沢市民からも親しまれている。 しかし、2つのグラウンドの1つが「土(クレイコート)」であることから、土埃など多くの人が不便を感じている状況である。 そこで、スポーツ愛好家はもちろん、本市の子どもたちへのスポーツへの愛着を育むためにも、盛岡市民と一緒に、その整備に努めたいと考えている。 岩手県選出国會議員にも理解してもらい、助言などもいただきたいと思い、要望をしたものである。 階議員からは「お手伝いできることがあればお手伝いしたい、国の補助金があれば使えるので、調べることも重要」とのアドバイスをいただいた。 15:30 解散 衆議院議員会館、首相官邸等を見学

活動概要	1月24日(金) 第47回地方×国 政策研究会 テーマ1 2025(令和7年度)地方財政対策(計画) 10:00 開会 趣旨説明 10:20～12:00 総務省より説明と質疑 ・地方財政対策(計画)とは 説明者 自治財政局財政課財政企画官 前田優 氏 自治財政局公営企業課準公営企業室長補佐 齋藤聡 氏 ・地域手当の大幅見直しと地方への影響 説明者 自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室長 進龍太郎 氏 テーマ2 不登校対策 13:00～14:00 COCOLOプランと背景 文部科学省からの説明と質疑 説明者 文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室 生徒指導第一係 村上一真 氏 14:00～15:30 多様な学びの実践現場から 講演と質疑応答 講師 文化学習協同ネットワークフリースクール事業統括責任者 佐藤真一郎 氏 15:30～16:05 特別報告 兵庫県知事選挙をめぐる状況報告 16:05～16:15 まとめ、閉会挨拶 主な要点 ・ 一般財源総額の確保等 ・ 地方財政の健全化 ・ DX、防災、減災対策の推進 ・ 人件費の増加への対応 ・ 物価高への対応 ・ 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について ・ 子どもたちの声と実践から不登校を考える 等
活動成果	今回の大きな目的は「不登校対策」についての文科省の対策と実践している団体の現状を知ること、検証することであった。 「不登校児童生徒への支援は、学校に登校することという結果のみを目標とするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある」という文科省の基本的な考え方に時代の変化を感じた。しかしながら、不登校の時期が休

活動成果

養等の積極的な意味を持つ一方で、学業の遅れが進路選択上の不利益として存在することにも留意すべきである。

フリースクールを運営し30周年という報告には説得力があった。そこから巣立って自立している若者の現在の姿にも明るさが感じられた。

しかしながら、そこで働いている人たちに対する給料をまともに払えない状況でボランティアとならざるを得ない状況である。東京都は1人1か月2万円の補助が始まったが、どこにも足りない。

滝沢市では、不登校児のために「フレンド滝沢」があるが、ほとんど活用されておらず、子どもたちが登校してこない状況と聞いている。市としてスペシャリストの人材活用のやり方を考えるべきと今回の研修で感じた。

講師が強調したのは、フリースクールと文科省(学校)との連携であった。

以上等のことから、非常に有意義な研修であった。



研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 7 年 1 月 23 日 (木)	9 : 06～11 : 56	盛岡駅⇒東京駅（はやぶさ 108 号）
	12 : 19～12 : 34 11 : 51～11 : 59	東京駅⇒大手町駅（東京メトロ有楽町線） 大手町駅⇒永田町駅（東京メトロ半蔵門線）
		昼食
	14 : 00～15 : 30	【要請陳情】 衆議院第 2 議員会館 203 号室 （東京都千代田区永田町 2-1-2） 【宿泊】 ヴィアインプライム赤坂 （港区赤坂 2 丁目 6-17）
令和 7 年 1 月 24 日 (金)	9 : 30	ホテル発
	10 : 00～16 : 15	【研修】 衆議院第 2 議員会館第 1 会議室 （東京都千代田区永田町 2-1-2） 「第 47 回地方×国 政策研究会」
	16 : 35～16 : 38 16 : 47～16 : 49	永田町駅⇒大手町駅（東京メトロ半蔵門線） 大手町駅⇒東京駅（JR 山手線）
	17 : 20～19 : 33	東京駅⇒盛岡駅（はやぶさ 39 号）

令和 7 年 3 月 2 8 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

会 派 名 市民クラブ

代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 7 年 3 月 2 0 日（木） から 令和 7 年 3 月 2 2 日（土） まで

2 活動場所

① 東部知多クリーンセンター

（愛知県知多郡東浦町大字森岡字葭野 4 1）

② 品川清掃工場

（東京都品川区八潮 1－4－1）

③ 東京都立中央図書館

（東京都港区南麻布 5－7－1 3）

3 参加者

山谷仁、齋藤明、柳橋好子

4 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 市民クラブ

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	盛岡広域環境組合議会において、ごみ問題及び焼却炉の協議が進められている。最新の熔融炉で運営している施設とストーカ炉の施設を視察し、ごみ処理広域化における滝沢市の今後を考えるために視察するものである。 また、滝沢市の図書館運営の参考にするべく、都内で独自の催事を企画するなど異色の図書館を視察見学するものである。
活動概要	実施日 令和7年3月20日(木)から令和7年3月22日(土) 場所 (1) 東部知多クリーンセンター 3月21日(金) (愛知県知多郡東浦町大字森岡字葭野41) (2) 品川清掃工場 3月22日(土) (東京都品川区八潮1-4-1) (3) 東京都立中央図書館 3月22日(土) (東京都港区南麻布5-7-13) 内容 3月20日(木) 移動 9:50 盛岡発 12:08 東京着 12:30 東京発 14:09 名古屋着 14:45 名古屋発 15:00 大府着 3月21日(金) 10:00 ~ 11:30 東部知多クリーンセンター視察 東部知多衛生組合議会議員(大府市議会議員)のご挨拶いただく クリーンセンター(シャフト炉式ガス化熔融炉)の施設説明・視察 12:00~12:30 移動(大府駅~名古屋駅) 14:49~16:24 名古屋~東京 3月22日(土) 10:00~11:30 品川清掃工場視察 全連続燃焼式火格子燃焼炉(ストーカ炉)施設説明・視察 13:30~15:00 東京都立中央図書館見学 東京都立中央図書館は、1973(昭和48)年に都立日比谷図書館の蔵書を引き継いでこの地に開館した。蔵書数は国内の公立図書館では最大級の約229万冊を所蔵しており、このうち、新しい図書を中心に約35万冊を

活動概要	開架している。 常に独自の催事を企画し都民に提供している。 今回は「情報、江戸を駆ける」展 16:20 東京駅発 18:33 盛岡駅着
活動成果	東部知多クリーンセンターでは、シャフト炉式ガス化溶融炉を、品川清掃工場ではストーカ炉をそれぞれを視察した。 東部知多クリーンセンターは、以前はストーカ炉であったが、広域の更新が計画された時点で、狭い土地でも建設できる縦型の炉が主流である溶融炉の建設となった。 愛知県は、土地面積の関係で溶融炉が多く、溶融炉は1700℃から1800℃の高温でゴミ処理できることで燃焼効率がよく、残渣が少ないなどの利点がある。残渣が少なく、生成したスラグやメタルを資源として有効利用することで最終処分量の最小化を実現している。 一方、品川清掃工場では、ストーカ炉の仕組みや安全性などの説明により、東京23区の効率的なゴミ処理の現状を視察した。23区はランニングコストの関係でほとんどがストーカ炉とのことである。公害防止対策など、万全を期しているが、溶融炉に比べて残渣が多いため、最終処分場が課題であると思われる。現在は東京都の管理で運営されている23区の最終処分場はいずれ満杯となると思われる。品川清掃工場の見学コースは、きめ細やかな展示と説明で都民、市民にゴミ問題を考える機会を提供している。 印象的だったのは、どちらもゴミ減量に努力していることだったが、東部知多クリーンセンターではゴミを出すのは「燃えるゴミ」ではなく「燃やすすしかないゴミ」が合言葉とのこと。それぞれの炉をじっくりと学び、今後のゴミ処理を考えるために有意義な視察であった。 東京都立中央図書館は、有栖川祈念公園の敷地内にあり、館内に軽食喫茶などもあり、一日中図書を楽しめる。また、散策路などもあり人気のスポットでもある。図書館主催のイベントが多彩で、本市の図書館でも市の歴史や伝統に関する事柄の展示、紹介の機会を増やすなど幅広くイベントを企画し、移住してきた市民に伝承していくことが必要と感じ、大いに参考になった。  

活動成果



視察研修日程表

月 日	時 間	日 程
令和 7 年 3 月 20 日 (木)	9 : 2 0	盛岡駅集合
	9 : 5 0 ~ 1 2 : 0 8	盛岡駅⇒東京駅 (はやぶさ 1 2 号)
	1 2 : 3 0 ~ 1 4 : 0 9	東京駅⇒名古屋駅 (のぞみ 3 3 号)
	1 4 : 4 5 ~ 1 5 : 0 0	名古屋駅⇒大府駅 (J R 東海道本線) 【宿泊】 ビジネスホテル アズイン大府
令和 7 年 3 月 21 日 (金)	9 : 0 0 ~ 9 : 3 0	ホテルからタクシー移動
	1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	【視察】 東部知多クリーンセンター (愛知県知多郡東浦町森岡葭野 41) (TEL0562-46-8855) 大府駅までタクシー移動
	1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0	大府駅⇒名古屋駅 (J R 東海道本線) 昼食
	1 4 : 4 9 ~ 1 6 : 2 4	名古屋駅⇒東京駅 (新幹線のぞみ 3 9 0 号) 【宿泊】 ホテルマイステイズ五反田駅前

令和7年3月22日 (土)	9:20～ 9:40	ホテルから移動
	10:00～11:30	【視察】 品川清掃工場 (東京都品川区八潮 1-4-4) (電話 03-3799-5353) 昼食 タクシーで移動
	13:30～15:00	【視察】 都立中央図書館 (東京都港区南麻布 5-7-13) (Tel03-3442-8451) 「都内で一番広い敷地を持った図書館、独自の催事なども行う異色の図書館であり、現在も独自に企画した催事を開催中である。」
	16:20～18:33	広尾駅⇒霞ヶ関駅 (東京メトロ日比谷線) 霞ヶ関駅⇒東京駅 (東京メトロ丸の内線) 東京駅⇒盛岡駅 (はやぶさ33号) 解散